

# 兵庫森林管理署

担当者 森林技術指導官：尾川隆造  
地域林政調整官：林 文夫  
TEL：050-3160-6170

- ▶ 兵庫県の森林は、日本海沿岸から瀬戸内海沿岸及び淡路島まで広範囲に分布しており、県土の67%（562千ha）をしめています。このうち24千haが国有林です。  
兵庫県の森林の96%は民有林ですが、スギ、ヒノキを中心とする人工林が222千ha、人工林率は42%と全国平均46%に比べやや低い水準にあります。また、戦後造林された人工林資源が成熟し、利用段階に移行しつつあります。木材生産機能と地球温暖化防止機能等を持続的に発揮するためには、これらの成熟した森林資源を伐採利用し、跡地に再造林を行う齢級構成の平準化が求められています。  
国産材供給量は回復傾向にあるものの、木材自給率は依然として低い水準にあり、我が国の林業・木材産業は森林所有者の経営意欲の低迷、国産材の生産・流通改革による山元への還元の遅れ、二ホンシカによる森林被害の増加等、引き続き厳しい状況にあり、兵庫県においても森林の適切な整備が行われず、森林の有する多面的機能の発揮に悪影響をきたすことが懸念されています。  
県内の国有林率はわずか4%ですが、揖保川森林計画区の宍粟市内に12千haが集中して所在しており、水源涵養等の公益的機能を発揮するとともに地域への木材の供給を担っています。また、加古川森林計画区（県南東部地域）、円山川森林計画区（県北部の日本海側）に所在する国有林は、小面積団地が点在している状況ですが、特に都市部近郊の国有林では、保健・文化・教育の場として森林の多面的機能を発揮しています。
- ▶ 兵庫森林管理署では国有林が所在する市町の地域の課題について、幅広い情報収集を行っており、今後、各課題の解決に向けて連携した取組を展開することとしています。特に平成25年度からの宍粟市における森林・林業・木材産業の活性化に向けた取組、たつの市内の二ホンシカ被害対策の取組、宝塚市における自然休養林の活用に向けた取組を連携して行っています。



【宝塚自然休養林保護管理協議会】  
（宝塚市役所会議室）

## 山村振興

【課題】 宍粟市の林業・木材産業の振興と新たな雇用の創出

【取組状況】

- 宍粟市が取り組んでいる市民の健康増進と観光振興を目的とした「森林セラピー基地」に赤西国有林の一部が認定され、赤西国有林をフィールドに様々な森林セラピーの活動が行われている。
- 宍粟市内の国有林の事業箇所において、兵庫県立山崎高校の学生を対象にインターンシップを実施した。間伐等保育作業の体験や、林業専用道の工事現場の見学を行った。
- 株式会社日本触媒による社会貢献活動である「日本触媒・水源の森」づくりにフィールドを提供するとともにNPO法人ひょうご森の倶楽部とともに技術的な支援を行っている。



【森林セラピーを体験中】



【林業専用道を見学する様子】



【「日本触媒・水源の森」活動】

## 鳥獣害対策の推進

【課題】 二ホンシカの個体数管理と防除対策

【取組状況】

- 岡山・鳥取・兵庫署合同による造林とシカ被害対策の低コスト化に向けた現地検討会を当署のマンガ谷・有ヶ原国有林で実施した。各県の林業関係機関団体から約80名が参加し、立木を利用した防護柵・埼玉方式の斜めばり防護柵・積雪型斜めばり防護柵を見学し、意見交換を行った。
- 兵庫県たつの市において、鳥獣対策用の箱罠等を鶏籠山及び札楽山に設置。たつの市と連携しながら二ホンシカの捕獲を継続して実施している。
- 昨年度からシカ対策緊急捕獲事業をマンガ谷・有ヶ原国有林で実施している。また、委託業務として国有林の巡視及び鹿等防護柵の点検業務を実施している。



【現地検討会の様子】



【札楽山国有林で箱罠を設置】



【マンガ谷国有林で罠を設置】



## 治山対策

【課題】地域の安全安心な暮らしを確保

【取組状況】

・【桑ヶ仙国有林の災害復旧】

兵庫県美方郡香美町の桑ヶ仙国有林において、平成27年4月の融雪により山腹崩壊が発生し直下の町道 岩小屋線に土砂が流出したことから早期の災害復旧を実施しました。

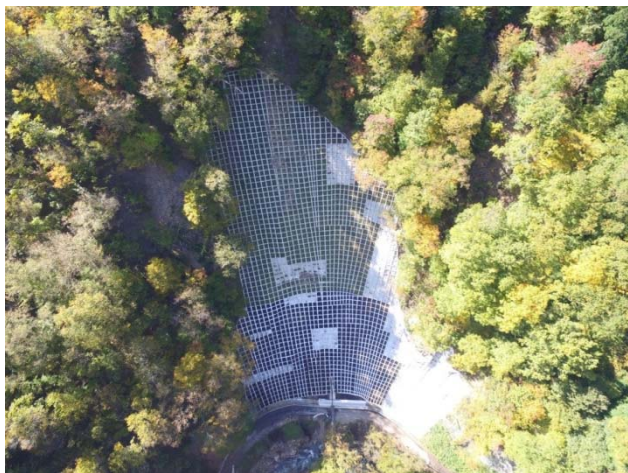
災害発生状況（平成27年4月）

・平成27年4月融雪による山腹崩壊発生直後の状況。



復旧状況（平成29年10月現在）

・平成28・29年度 簡易吹付法砕工を実施



## 民国連系の推進



【由良国有林での現地検討会】



【請負者による作業工程の説明】

【課題】国有林を軸にした県・市との連携による林業活性化

【取組状況】

淡路地区での林業の活性化を図るため、由良国有林で実施中の森林整備事業（列状間伐）地において地元林業関係者を対象に現地検討会を開催した。具体的には、

- ・高性能林業機械作業システムによる列状間伐。
- ・ロングリーチグラブを活用した効率的な森林作業道の設置。
- ・中間土場の設置による大型トラックでの輸送コスト縮減。

などについて、現地で実演・説明した後、意見交換を実施した。その後、洲本市役所の会議室に移動し、淡路市・洲本市・南あわじ市の3市・兵庫県みどり公社・森林総研（水源林）・兵庫署の6者により相互の事業計画等共有し、今後も連携を図っていくこととした。

## 首用くくり罠による学術捕獲調査

【課題】鳥獣対策の検証

【取組状況】

河原山国有林においてシカ対策の取組として、首用くくり罠による調査捕獲を実施した。センサーカメラを活用してシカの動向を確認し今後の捕獲方法の改善について検討した。



【首用くくり罠の設置】



【捕獲したシカ】



【捕獲時に壊れた罠】